

青春の駅

205 桜丘中学校・高等学校 鉄道研究サークル

僕は今日、全寮制の桜丘高校を卒業する高校3年生。今思い返してみると、入学式当日この駅を見てこんなことを言ったのを覚えている。

「ここが最寄りの青山町駅か、周りになにもないじゃないか」

それから僕の青春は始まったのだ。桜丘高校の思い出の中で、青山町駅は切っても切れない存在だった。

休日に友達と外出した時。みんなで校外学習に行った時。この駅を使い、学校の「外」に行ったのだ。思い出に浸った後、僕はつぶやいた。

「この田舎の景色を見るのも最後か」

そして3年間使った、この寂れた小さな駅舎と、この田舎の景色に最後の別れを告げた。

これからの未来へと近鉄に乗り、出発していった。

「ありがとう、青山町」

僕たちはこの何もない寂れた景色の中に、思い出というフィルターをかけることで、素晴らしい景色に化かすことができるのだ。